

< 目 次 >

- 1 【 実践事例 】 「二戸西小学校実践区（二戸市）」《読書活動の推進》
 - 2 【 家庭学習 】 平成 22 年度全国学力テストに思う（その 2）
 - 3 【 教振は今 】 教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 4 【 みんなの声 】 ペっこ言い隊
 - 5 【 編集後記 】 あつしのひとりごと
-

1 【 実践事例 】 「二戸西小学校実践区（二戸市）」《読書活動の推進》

読書が苦手な子、簡単な本ばかり読む子がいるという課題に対して、二戸西小学校実践区では、図書委員会の活動として相互に本を紹介しあうほか、地域では子ども会ごとに読み聞かせや読書会をおこなっています。その様子を、学校日よりや学級日よりで各家庭等に伝えています。

事例は⇒http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei_ninohenisi.pdf

2 【 読書活動 】 平成 22 年度全国学力テストに思う（その 2）

2009 年度から、「授業力向上」と「家庭学習との効果的な連動」を図るために、指導主事が県内の学校の巡回指導をおこない、今年の 3 月には県内全市町村の教育長に呼びかけ、市町村立小中学校では「宿題の見直し」が始まっています。

教育振興運動推進研修会では、昨年度より指導主事が「各地域の児童生徒の学力実態」についての説明をしています。学校教育と社会教育の協力が、子ども・家庭・地域・学校・行政の 5 者の連携を唱える教育振興運動においても大切だからです。

「家庭学習の不足」という教育課題に対し、学校は「授業と家庭学習の効果的な連動による宿題の見直し」を自己の役割と責任において取り組んでいます。家庭や地域、行政においても、それぞれが出来ることを話しあい、継続的に取り組むことで、地域全体で子どもたちを育む雰囲気を盛り上げましょう。

今年の全国学力テストの結果、県内の児童生徒の「家庭学習時間が徐々に確保されてきている」様子が明らかになりました。各校・各地域での取組が、成果を挙げ始めています。

	H19	H20	H21	H22
小 6（1 時間以上）；	63.7%	⇒ 61.5%	⇒ 65.7%	⇒ 69.5%
中 3（2 時間以上）；	16.0%	⇒ 15.7%	⇒ 16.5%	⇒ 17.3%

紫波第一中学校では、同校の卒業生である大学生が夏休みの学習会で指導にあたっています。2009年夏に彦部地区教育振興運動実践協議会で始まり、今夏は赤沢、長岡、日詰地区の実践協議会でも実施しました。長期休みに帰省で帰ってくる卒業生の協力を得れば、どこの地域でも実践できる取組です。

「家庭学習に取り組む時間を配慮せず、部活動やスポ少の練習優先」、「テレビをつけっぱなしの学習環境」という地域や家庭を改める雰囲気や教育振興運動で作っていききたいものです。家庭で学習することが難しいのであれば、それを補って学習に取り組む時間と場所を保障する取組を地域が行いたいものです。

3【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

- (振ちゃん) 終わった……。僕の青春が終わっちゃったよ……。
- (教ちゃん) どうしたの？振ちゃん。
- (振ちゃん) 夏休みが終わっちゃった。まだ、読書感想文も書き終わっていないのに……。
- (教ちゃん) 確か……。昨年も、そんなことを言っていなかった？
- (振ちゃん) だって……。どの本を読んだらいいのか、迷っちゃって。
- (教ちゃん) そうよね。お薦めのブックリストがあるといいわね。あっ、そういえば、今『いわての中高生のためのお薦め図書 100 選 (仮称)』を作っているのよ。
- (振ちゃん) ああ……。僕、小学生なのだけど……。
- (教ちゃん) 県民の皆さんから、中高生に「お薦めの1冊」を募集しているの。ブックリストが完成したら、県内すべての中高生に配布するのよ。
- (振ちゃん) 小学生の僕は、もらえないよ。ねえ、聞いてる？
- (教ちゃん) 応募方法は、次のとおりよ。「お薦めの1冊」を、中高生に紹介してくださいね。皆様の応募を待ってま〜す。

- ① 応募内容；「作品名」、「作者名」、「出版社」、「推薦文（必須）」、「連絡先（氏名、年齢、住所、電話番号、FAX 番号、E-mail）」を明記のうえ、お一人につき1冊の推薦を、郵送、持参、FAX、電子メールにより応募
- ② 応募期間；平成22年7月16日（金）～9月30日（木）
- ③ 応募先；岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課・生涯学習担当
〒020-8570 盛岡市内丸10-1 県庁10階
電話 019-629-6176 FAX019-629-6179
電子メール：iwate.osusume.book@gmail.com

(振ちゃん) ねえ、誰か。僕の読書感想文も手伝ってよ〜！

4【みんなの声】ぺっこ言い隊

毎号のメルマガで、読書の大切さを痛感しています。そこで、今回は選書について質問したいと思います。

我が家では月に数回、図書館に本を借りに行きます。どんな本を選べばいいのか良く分からないので、図書館で推奨している本や新刊の本、あるいは子どもたちが読みたいと思う本を借りるのですが、端的に言うと「為になる本」を読ませたいなと思っています。

何も文学作品ばかりを読ませたい訳ではありませんが、子どもの年頃に合った本、様々なジャンルの本を選書するにはどうしたら良いでしょうか。親が押し付けても読まないと思うので、そうした本を子どもが納得して読むいいやり方などがありましたら、併せて教えてください。(H町 Cさん)

- ⇒ 自分が読んだ本を「この本は、面白いぞ」と直接手渡したり、自分が小・中学生の時に夢中になった本を紹介したりして、親子で思いを共有したいですね。また、小学生には、偏りなくいろんな本に触れさせたいです。学校や図書館では、独自のブックリストを作っているところもあります。国語の教科書でも本を紹介しています。それらも参考になるとと思います。

5 【編集後記】あつしのひとりごと

中井貴恵さんをお招きし、盛岡駅西口の「アイーナ」において10月24日(日)に開催する『子育てに活かす読書活動推進フォーラム』のポスターと第2次案内チラシ(参加申込)を、今月下旬に市町村教育委員会等に配布する予定です。

また、FMいわての「家族の絆」という番組にうれし野こども図書室理事長の高橋美知子さんが出演し、“子育てと読書”についてのお話をします。最終日には、『子育てに活かす読書活動推進フォーラム』の紹介もいただいています。
【放送日；8月30日(月)、31日(火)、9月1日(水) 放送時間；12：45～】

⇒ 第28号は、9月14日(火)配信です。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

★平成21年度配信のバックナンバー(第1～17号)は、こちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index5.html>

★平成22年度配信のバックナンバー(第18～26号)は、こちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index8.html>

★平成21年度「家庭学習」と「読書推進」の実践事例はこちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index3.html>

★生涯学習の役立ち情報なら何でも「まなびネットいわて」まで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/>

～～～配信元～～～

* 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

* 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士(さとう あつし)

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

～～～